

かばた



川俣地区住民協議会
第20号
平成27年3月発行

第31回川俣ふるさと祭り・川俣地区敬老会

2月15日の第31回川俣ふるさと祭りは、敬老会と一緒に開催、多くの人で賑わいました。

川俣地区の75歳以上の高齢者は333人、当日は約100名が出席してくれました。

午前中は大正琴の演奏や歌、踊り等を楽しみました。発表される皆さんは、観客が多くてとても緊張したそうですよ。

午後は、津軽三味線ユニット「^{ラセラ}来世楽」のお二人のステージ。津軽三味線や民謡を楽しみました。会場の皆さんもとても盛り上がっていました。

前日の土曜日の夜には、ボーカルの女性が加わり、活動の場が広がったという「NEXT」のバンド演奏と宮本出身の「Nory」（中村宣大さん）の演奏と歌を楽しみました。

B&Gの体育館には、香肌小学校や飯高西中学校の児童・生徒の作品や、一般の方々の絵画や水墨画、絵手紙等の力作が展示されました。皆さん見ていただきましたか？

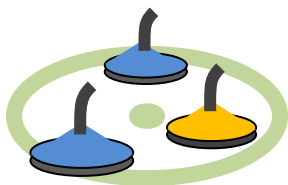
今回、雀部竹風さんが発行されていた「西飯南時報」と「香肌峡タイムズ」も展示されていました。その中の昭和26年9月の記事に、「福本に電燈がつく見通しになった。総工費50万円、1戸当たり2万円の負担だが、明るい見通しに喜ぶ」という記事が掲載されていましたよ。



第7回川俣スポーツ健康まつり(ユニカール大会)

1月25日にユニカール大会が開催されました。子どもから高齢者まで約100人が参加し熱戦が繰り広げられました。

すっかり川俣地区の行事として定着したユニカール大会。なかなか楽しいですよ。



桜の剪定作業

川俣地内国道沿いを中心に桜の剪定を行いました。これは環境整備事業で、主にてんぐす病の除去を中心に作業が行われました。

早く桜の咲く春になるといいですね。



今は花見といえば桜ですが、奈良時代以前は花といえば梅だったそうです。梅の別名は春告草(はるつげぐさ)。その名の通り、寒い中春を告げるように咲いています。

桜の咲く頃までまだまだ寒さは続くようです。

♪春よ来い 早く来い♪♪♪



平成26年度もあとわずかととなりました。皆様には、住民協議会の様々な行事へのご参加、ご協力をいただきありがとうございました。

川俣地区住民協議会会長 鶴口享佳

